

「微生物学的検査」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、微生物学的検査におきまして、定期的な見直しにともない検査内容の一部を変更させて頂きたくご案内いたします。
誠に勝手ではございますが、弊社事情をご賢察のうえご了承のほどよろしくお願い申し上げます。
敬具

記

変更項目および変更内容

※ 詳細につきましては、次頁以降の内容をご参照願います。

変 更 期 日

平成 25 年 4 月 1 日（月）受託分より変更

保健科学グループ



株式会社 **保健科学研究所**

本 社	横浜市保土ヶ谷区神戸町 106	TEL 045-333-1661
仙台支社	仙台市宮城野区扇町 1-3-5	TEL 022-236-9345
中部支社	名古屋市西区則武新町 2-20-17	TEL 052-582-3201
大阪支社	豊中市原田中 1-2-3	TEL 06-6843-5622
福岡支社	福岡市博多区山王 2-14-34	TEL 092-452-0851

新潟臨床検査センター
保健科学東日本
日本ノーバメディカル研究所
いかがく
組織科学研究所
ケーアイイー細胞病理研究所
カスタムメディカル研究所

遠州予防医学研究所
日本厚生団衛生科学研究所
湘南医化学検査センター
小田原衛検
相模医研
東部メディカルセンター

平成25年4月1日(月)より新規受託

新規受託項目

項目コード	検査項目	検体必要量	保存方法 容器	検査方法	基準値	所要日数	実施料 判断料	備考
8273	大腸菌ベロトキシン [ELISA]	糞便 1.0g	冷蔵 ※	ELISA法	陰性	2~3日	200 微生物	糞便より直接検査致します。 *ア
8018	マイコプラズマ培養	喀出痰、咽頭ぬぐい液/他		培養同定	陰性	9~20日	微生物	採取部位毎の培養検査点数に準ずる。*ア

検査場所:保健科学研究所 第二ラボラトリー (*ア)

※ 総合検査案内 122頁の微生物・輸送培地・輸送容器一覧の材料毎の適切な容器をご使用ください。

平成25年4月1日(月)受託分より変更

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	検査案内書 掲載ページ
8216	MRSA培養	報告対象	《 欄外をご参照下さい 》			115
8098	大腸菌ベロトキシン	項目名称	大腸菌ベロトキシン [RPLA]	大腸菌ベロトキシン	ELISA法の受託開始に伴い名称を変更します。	118
8099	大腸菌抗原同定		大腸菌血清型別	大腸菌抗原同定	保険収載名称に準じた名称に変更します。	
8056	結核菌群抗原精密測定		結核菌群抗原定性	結核菌群抗原精密測定		
8055	抗酸菌群核酸同定 精密検査		抗酸菌核酸同定	抗酸菌群核酸同定精密検査		119

○ MRSA培養の変更内容

Staphylococcus aureus が検出されず、その他の感受性検査実施対象菌が検出された場合、従来はその検出菌に対して薬剤感受性検査を実施しておりましたが、今後は *Staphylococcus aureus* のみに薬剤感受性検査を実施します。

▼ 常在細菌の見直し、及びそれに伴う薬剤感受性検査の実施対象外となる菌種の変更

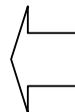
薬剤感受性検査は、常在細菌以外の菌種に対して実施しておりますが、この度「口腔・気道・呼吸器からの検体」について常在細菌とする菌種の見直しを行いました。

これに伴い「薬剤感受性検査の実施対象外となる菌種」を変更させていただきます。

《 変更後 》

薬剤感受性検査の実施対象外となる菌種 ※

<i>α-Streptococcus</i>
<i>Neisseria</i> spp.(淋菌、髄膜炎菌を除く)
<i>Micrococcus</i> spp.
<i>Bacillus</i> spp.(<i>Bacillus cereus</i> を除く)
<i>Corynebacterium</i> spp. (ジフテリア菌以外かつ純培養的に2+以下)
Coagulase Negative <i>Staphylococcus</i> (1+以下)
<i>Moraxella</i> spp. (<i>M.catarrhalis</i> を除く)
<i>Capnocytophaga</i> spp.
<i>Lactobacillus</i> spp.



《 変更前 》

薬剤感受性検査の実施対象外となる菌種

<i>Streptococcus viridans</i> group(緑色連鎖球菌)
<i>Neisseria</i> spp.(非病原性)
<i>Micrococcus</i> spp.
<i>Bacillus</i> spp.(非病原性)
<i>Corynebacterium</i> spp.(ジフテリア菌以外)
Coagulase Negative <i>Staphylococcus</i>
<i>Moraxella</i> spp.
<i>Capnocytophaga</i> spp.
<i>Peptostreptococcus</i> spp.
<i>Lactobacillus</i> spp.
<i>Actinomyces</i> spp.
<i>Veillonella</i> spp.
<i>Fusobacterium</i> spp.
<i>Candida</i> spp.
他 口腔内常在菌

※ 検査材料が副鼻腔、膿瘍、TTA喀痰、上顎洞由来の場合には、薬剤感受性検査を実施します。

▼ 菌種名称の変更

国際微生物学連盟: IUMS (International Union of Microbiological Society)により発表されている細菌名を基準として、菌種名称を下記の通り変更すると同時に、一部の菌種を新たに登録いたします。

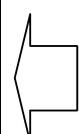
① 変更する菌種

《 変更後 》

細菌コード	報告菌名
782	<i>Raoultella ornithinolytica</i>
785	<i>Raoultella planticola</i>
809	<i>Kluyvera intermedia</i>
810	<i>Cronobacter sakazakii</i>
1102	<i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>arizonae</i>
1103	<i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>bongori</i>
1105	<i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>diarizonae</i>
1106	<i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>houtenae</i>
1107	<i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>indica</i>
1108	<i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>salamae</i>
1424	<i>Achromobacter xylosoxidans</i> subsp. <i>denitrificans</i>
1484	<i>Elizabethkingia meningoseptica</i>
1532	<i>Pseudomonas oryzihabitans</i>
1802	<i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i>
1804	<i>Aggregatibacter aphrophilus</i>
1809	<i>Avibacterium paragallinarum</i>
1814	<i>Aggregatibacter segnis</i>
4113	<i>Peptoniphilus asaccharolyticus</i>
4114	<i>Anaerococcus hydrogenalis</i>
4115	<i>Peptoniphilus indolicus</i>
4116	<i>Fingoldia magna</i>
4117	<i>Parvimonas micra</i>
4118	<i>Anaerococcus prevotii</i>
4119	<i>Anaerococcus tetradius</i>
4304	<i>Parabacteroides distasonis</i>
4804	<i>Propionibacterium propionicum</i>
5213	<i>Tissierella praeacuta</i>
1310	<i>Grimontia hollisae</i>

《 変更前 》

報告菌名
<i>Klebsiella ornithinolytica</i>
<i>Klebsiella planticola</i>
<i>Enterobacter intermedius</i>
<i>Enterobacter sakazakii</i>
<i>Salmonella arizonae</i>
<i>Salmonella bongori</i>
<i>Salmonella diarizonae</i>
<i>Salmonella houtenae</i>
<i>Salmonella indica</i>
<i>Salmonella salamae</i>
<i>Achromobacter xylosoxidans</i>
<i>Chryseobacterium meningosepticum</i>
<i>Flavimonas oryzihabitans</i>
<i>Haemophilus actinomycetemcomitans</i>
<i>Haemophilus aphrophilus</i>
<i>Haemophilus paragallinarum</i>
<i>Haemophilus segnis</i>
<i>Peptostreptococcus asaccharolyticus</i>
<i>Peptostreptococcus hydrogenalis</i>
<i>Peptostreptococcus indolicus</i>
<i>Peptostreptococcus magnus</i>
<i>Peptostreptococcus micros</i>
<i>Peptostreptococcus prevotii</i>
<i>Peptostreptococcus tetradius</i>
<i>Bacteroides distasonis</i>
<i>Propionibacterium propionicum</i>
<i>Clostridium hastiforme</i>
<i>Vibrio hollisae</i>



② 新たに追加する菌種

菌コード	報告菌名
263	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>dysgalactiae</i>
264	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>
265	<i>Streptococcus anginosus</i> Group ※
188	<i>Staphylococcus pseudintermedius</i>
789	<i>Klebsiella pneumoniae</i> subsp. <i>ozaenae</i>
790	<i>Klebsiella pneumoniae</i> subsp. <i>pneumoniae</i>
791	<i>Klebsiella pneumoniae</i> subsp. <i>rhinoscleromatis</i>
1315	<i>Vibrio cholerae</i> O1 (小川型)
1316	<i>Vibrio cholerae</i> O1 (彦島型)
1317	<i>Vibrio cholerae</i> O1 (稲葉型)
7256	<i>Trichosporon asahii</i>

▼ 報告対象基準の変更

下記の常在細菌については検出された場合においても、報告対象外としておりましたが臨床的有用性(ノーマルフローラの攪乱の指標等)を考慮して報告対象へと変更させていただきます。

○ 変更菌種

- ・ *Lactobacillus* spp. (泌尿器・生殖器からの検体)……菌量等に関わらず報告いたします。

▼ 薬剤感受性検査の弊社薬剤セットの変更

薬剤感受性検査のご依頼時に貴院からの薬剤セット登録がない場合には、弊社の薬剤セットにて感受性検査を実施いたしますが、その薬剤セットの内容について変更します。
 主要な変更点は、菌種を6分類から10分類へと細分化し、登録される抗菌薬を25薬剤に変更します。

○ 新 保健科学研究所薬剤セット内容

系統名	ペニシリン系					セフェム系						カルバペネム系		マクロライド系	リンコマイシン系	キノロン系	テトラサイクリン系	アミノグリコシド系	グリコペプチド系	その他					
	PC	ABPC	PIPC	SBT/ABPC	TAZ/PIPC	CEZ	CAZ	CTX	CTR	CFD	CFM	LMOX	IPM	MEPM	E	CAM	CLDM	CPF	LVF	MINO	G	AMK	ABK	VCM	FOM
抗 菌 薬																									
菌 種																									
グラム陰性桿菌 (腸内細菌科)		○	○		○	○	○	○				○	○					○	○	○	○	○			○
ブドウ糖非発酵菌 (緑膿菌含む)			○		○		○	○				○	○					○	○	○	○				
ブドウ球菌	○	○		○		○				○	○		○		○		○	○	○	○			○	○	
連鎖球菌	○	○				○		○	○	○		○	○	○			○		○					○	
腸球菌	○	○										○		○				○	○					○	
グラム陽性菌 (上記の3菌種を除く)	○	○				○		○		○	○		○		○		○	○	○	○	○			○	
ヘモフィルス		○		○				○	○	○	○		○	○		○		○	○	○					
カンピロバクター		○													○	○		○	○	○					○
嫌気性菌		○	○					○				○	○				○								
グラム陰性双球菌 (淋菌含む)	○	○						○								○		○	○	○					

一部、薬剤感受性検査の報告において、「N」表記の対象菌種、薬剤を見直します。

▼ 培養検査における検査材料:羊水、カテーテル先端の取扱いの変更

従来、培養検査においては、検査材料:羊水及びカテーテル先端は培養検査「血液・穿刺液」に該当する検査材料として取扱いしておりましたが、見直しに伴い、以下の通りの取り扱いに変更させていただきます。

《 変更後 》

《 変更前 》

検査材料	検査区分及び名称:項目コード (保険点数)
羊水	泌尿器・生殖器からの検体 :項目コード8006 (150点)
カテーテル先端	その他の部位からの検体 :項目コード8008 (140点)



検査区分及び名称:項目コード (保険点数)
血液・穿刺液 :項目コード8007 (190点)